

沖縄県南城市長

## 古謝景春

全国大会実行委員会  
監事



意見発表

県内外からこれまでの大勢の皆様にお集まりをいたいた中、このような機会をいただきましたまさにあります。この機会に南城市的紹介をさせていただきます。

我が南城市は沖縄本島の東部に位置し、平成18年1月に1町3村の合併により誕生いたしました。人口約4万3,000人の市でございます。

合併前の南城市地域は人口が年々減少しておりま

たが、平成22年8月の単独

都市計画区域再編等による

新たなまちづくりの展開に

あります。耳に入つてくる会話は、中国語・韓国語・英語さらに無学な小

人が増えていきました。確かに、皇

居周辺を散歩していると、外国人と

思ひき家族や小グループがあちこち

で写真を撮つたり散策していた

り。耳に入つてくる会話は、中国人

が初めて聞く言語と、外国人観光

客の多さ多様さをまさに肌で感じ

る。政府は、訪日外国人数につい

て、平成32年に4千万人、平成42年

より、若年層を中心としたUターン等に伴い人口も増加に転じ、合併後の約10年間に人口比で約8%、3,200人が増加するなど、東洋経済調査による成長力ランキンがも全国8位となりました。一方、本市は琉球開拓神話の地として神々の島・久高島や世界遺産豪華御嶽をはじめ、深い歴史を刻んだ

や学术的にも貴重な伝統芸能を数多く擁しております。また、豊かな自然環境

に恵まれた本市には、マリ

ンレジャーが盛んなあざま

サンサンビーチや新原ビ

チ、知念岬公園、玉泉洞、

那覇空港への主要アクセス道

とんどを自動車交通に依存し、朝夕のラッシュ時には

三大都市圏並みの慢性的な

交通渋滞が様々な社会問題

を引き起こしておらず、早期

の体系的な道路整備が必要

となっています。

現在、本県においては那

洋戦争により鉄軌道の存在

が大きな役割を果たしてきた

ところであります。

しかししながら、先の太平

洋戦争により鉄軌道の存在